

## 特別研究活動報告書（2022年度） I

# 地域ブランドの向上が与える産地分業システムへの影響及び持続的成長に向けた中小企業の変容に関する実証的研究

梅村 仁

1. 研究の目的
2. 研究の方法
3. 研究活動報告
4. 主な発表論文等
5. 研究組織

## 1. 研究の目的

地場産業研究の端緒は、1950年代における在来工業研究や伝統工業研究にある。その後、高度経済成長期を通じて国内の産業構造が大きく変化するなかで、地場産業における各種の変化を捉えようとする研究が数多く蓄積された。また、高度経済成長期後半から安定成長期にかけてのいわゆる「地方の時代」においては、地場産業が地域経済に果たす役割が注目され、研究の蓄積はさらに厚みを増すこととなった。しかし、1980年代後半に入り、地場産業全体の衰退傾向が強まると、地場産業研究も下火になっていった。そのため、近年では地場産業産地における構造変化や産地維持要因が十分に分析・検討されているとは言い難い状況にある。そうした中、地域ブランドの向上に取り組むことにより、4代目経営者（100年企業）へのスムーズな事業継承や海外への販路開拓、外部からの職人志望者も増加する産地も現れてきた。本研究では、関西を代表する地場産業である兵庫県豊岡市の鞆産業を主対象に、地域ブランド向上が与える産地の分業システムへの影響とそれらによる持続的成長

に向けた中小企業の変容について実証研究からその姿を明らかにし、産地の持つ可能性を示すことを目的とする。

## 2. 研究の方法

研究代表者の梅村が全体的な研究総括を行い、共同研究者3名とともに、国内外の文献調査、関係機関との調整、企業アンケート及び企業インタビューの調査・分析・考察、地域調査を実施する。

## 3. 研究活動報告

・研究ミーティングは適宜開催（年6回程度、オンライン）

・地域団体商標（豊岡鞆）アンケート調査（R5.1月実施）の実施

豊岡市の後援を得て、アンケートツールを使用したオンラインアンケートを全国15歳以上1,500人を対象に実施した。

・企業等へのインタビューは各自実施。なお、COVID-19の影響が未だ収束していないことから、国内調査のアポイントが取りにくい状況であるため、海外における日系中小企業の現状視察も実施予定。

〈主な調査事項〉

|   |               | 期間         | 参加者             | 内容                                                |
|---|---------------|------------|-----------------|---------------------------------------------------|
| 1 | 豊岡市鞆産業調査      | R4.8.18-19 | 梅村, 飯盛, 長谷川, 瓶内 | 豊岡市の企業, カバン工業組合, 市役所等を訪問しインタビュー調査及び合同ミーティングを実施した。 |
| 2 | 日系中小企業の進出状況調査 | R5.2月上旬    | 梅村              | 神戸シアトルビジネスオフィスを訪問し, 西海岸エリアの中小企業の進出動向等に関する調査を実施予定。 |
| 3 | 米国・スポーツ産業調査   | R5.2月上旬    | 梅村              | 米国西海岸エリアの地場産業であるスポーツ産業について, 現地調査を実施予定。            |
| 4 | 久米島地場産業調査     | R5.3月上旬    | 長谷川, 瓶内         | 沖縄県久米島の地場産業である海洋深層水を使ったベンチャー企業調査を実施予定。            |
| 5 | 日系ベンチャー企業調査   | R5.3月上旬    | 梅村              | 米国サンディエゴの日系中小企業を訪問し, 企業経営戦略についてインタビュー予定。          |
| 6 | 地場産業海外比較調査    | R5.3月下旬    | 梅村              | イタリア・バルマ大学を訪問し, 研究会に参加すると共に, 企業調査を実施予定。           |

#### 4. 主な発表論文等

- ・ 梅村仁「自治体中小企業政策と企業の立地環境」『公益社団法人中小企業研究センター年報2022』 pp.3-20.

#### 5. 研究組織

- ・ 梅村仁          大阪経済大学経済学部教授（研究代表者）
- ・ 飯盛義徳      慶應義塾大学総合政策学部教授
- ・ 長谷川英伸    玉川大学経営学部准教授
- ・ 瓶内栄作      芸術文化観光専門職大学芸術文化・観光学部専任講師